

## 公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	キッズワールドサポートOceanⅡ				公表日 R7年5月29日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	4	パーテーションを使用している。	活発な児童が多くボール遊びをよくするので狭く感じる時がある。時間を決めて遊び方を変えています。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	急なお休みの時には他部署と連携を図り支援を行っている。	職員も増えているが、急なお休みが彼った時は対応できる人員が限られた時があった。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	段差が高い所は踏み台を設置している。	個室やトイレ入り口は狭い為、車いす使用の場合は狭く感じてしまう。トイレに手すり等は無い。(現在は対象児童はいない為不便はない)
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日清掃、消毒を行い心地よく過ごせるような環境づくりを心がけてます。	動の動きが多い時は、静の場を作るスペースが限られることがある。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		児童の意思を尊重し、寄り添った支援を提供できるよう心がけています。	児童からの要望や、必要ケースに応じて居場所作りを行っていきます。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		定期的に子ども達の支援について、職員会議を行い見直しを行っています。	今後も子ども達の成長に合わせた支援を行っていきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者の意見を踏まえて、業務改善について話し合いを行っています。	評価表だけでなく、随時保護者からの要望等あればその都度話し合い改善に努めます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		定期的に職員会議を行い、意見を集め改善策を話し合っています。	会議の場だけでなく、その都度意見があれば共有し児童支援に活かせるように努めています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	第三者を交えた外部評価を実施したことがない。	第三者委員会はあるが、話し合い等は実施できていないので今後取り組んで行きたいです。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		法人研修にも参加し、外部で研修があれば参加する様にしている。	事業所内でもより良い支援が出来るように勉強会や研修を実施していきたいです。
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		プログラムを職員間で共有し作成、公表している。	より良い支援の為、必要に応じてプログラムの改善に努めています。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		支援計画書作成時に、家族からのアセスメント情報や事業所内で作成したアセスメントを基に児童の成長に合わせた計画書作成を実施している。	保護者との情報共有を密に行いながら計画書作成を行っていきます。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		児童の成長に合わせた支援が行えるよう、モニタリングや支援会議を職員で行っています。	今後も情報共有を行い、支援計画書を作成していきます。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		適宜に会議を行い、職員間で支援方法の話し合いや、共有を行っています。	情報共有を密に行い、計画に沿った支援を行っていきます。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		個別のケース内容や支援内容の記録を行い、職員間で振り返りをし、情報共有を行い児童支援の質の向上に努めています。	再度アセスメントの必要性を職員間で話し合っていきます。
適切な支援の提	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		家族のサポートも行えるように支援計画書を作成し、地域支援・移行支援の内容を記載している。困り感や情報共有が必要な場合は個別で面談の場を設けサポートできるよう配慮している。	児童の成長に合わせて家族、地域、学校と連携が必要であれば積極的に情報共有の徹底を行っていきます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員会議で話し合いを行い、プログラムを作成しています。	今後も継続して行っていきます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		前月と被らないように、職員間で意見を出し合い作成しています。	今後も継続して行っていきます。

供 應	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		一人一人に合った支援計画書を作成し、支援を行っています。	今後も継続して行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		午前中や午後出勤時など適宜に情報共有の場を設け、支援をしやすい環境を作っています。	今後も継続して行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	振り返りを行い、各自意見を出し合い情報共有を行っています。また、業務終了後に不在の職員には翌日、情報共有を行っています。	今後も継続して行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		その日の児童の行動や発言等で気になる所は記録を残している。また支援計画書に沿った支援内容も行っています。	記録を行うとともに、情報共有も大切にして行います。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		適宜にモニタリングを実施しています。	今後も継続して行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	3	1	自立に向けた取り組みや創作活動、余暇時間は適時支援を行っています。	地域に出る機会や交流する場がほとんど無かった為、今後は機会を増やしていきたいです。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		支援の中でも児童の意思を尊重できるよう選択肢を与えたり、意見を募ったりしています。	自主性や社会性が身に付くような支援が行えるよう努めています。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		事前に職員間でも話し合いを行い、情報共有し代表者が参加しています。	臨機応変に対応出来るよう、固定した職員だけにならないよう協力して行います。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	学校や保育の現場、障害福祉との連携は図れています。	主治医や地域の保健との連携が薄いので、今後強化していきたいです。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		スクリレでの情報やお迎え時等に学校職員との情報交換を常に行ってています。	今後も継続して行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		必要に応じて情報共有を行っています。	今後も継続して行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		対象児童がほとんどいないが、居る場合は情報提供を行っています。	対象児童が居る場合は今後も行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4	スーパーバイズと連携はされていないが、地域主催の研修へ参加する様にしています。	助言が欲しい時にどこへ確認して良いか分からなかった為困る事があった。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		5	学童クラブのスポーツ大会の見学へ行ったことはあるが、交流までは行えなかった。	今年度は交流の機会の場を設ける予定なので今後増やしていきたいです。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		4	機会がなく参加できていません。	今後機会があれば参加していきたいです。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		引き継ぎ時や連絡帳アプリ、LINE等で日々の状況をお伝えしています。	保護者から困り感や支援についての相談等あればその都度話し合いを実施して行います。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5	ペアトレ等は行えていません。	今後検討していきたいです。また、研修等情報提供は行っています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明行っています。見学や体験時にも大まかな説明は行い理解を得られるようにしています。	誰でも理解しやすい説明の仕方を考えています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		アセスメントの作成を行い、原案を作成し了承を得た上で作成する事を心がけています。	今後も児童や家族の意向に沿ったサービス提供を心がけて行います。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		支援計画書作成後は、保護者へ説明・確認を行い、同意を得るようにしています。	今後も継続して行っています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		相談があつた際は、職員間でも共有し意見をまとめ、保護者へお伝えしています。	今後も保護者へのサポートにも力を入れていきたいです。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	2	令和6年度は2回開催した。 親子や兄弟揃って身体を動かし楽しく交流する機会は設けた。	保護者同士の交流の場までは設けられなかつた。令和7年度は保護者同士の関わりが持てる会を開催していきたいです。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情があれば、早急な対応と事業所内の改善策などを保護者へ周知していくよう行っています。	迅速かつ適切に対応するよう努めています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		連絡帳アプリやLINEで情報の発信を行っています。	HPやSNSの活用が出来ていないので今後力を入れていきたいです。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		保護者から同意を得て、HPやSNS・お便り等へ載せています。また個人情報は鍵付きの棚で保管しています。	今後も個人情報の取り扱いには気付けています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		個々の特性に合わせたツールを活用する様にしています。保護者へも分かりやすい言葉で伝えるようにしています。	今後も配慮を行っていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	地域住民を招待するイベントは開催できなかった。	地域との関わりが持てる活動やイベントを考えていきたいです。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	マニュアルは作成できている。	周知する機会を持てていない。定期的に周知できる取り組みを考えていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	BCP計画を基に訓練を実施している。	訓練を増やし、児童・職員共に非常時に応できる知識・自信を付けていきたいです。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	対象児童が居る場合は事前に話し合いを行っています。	現在は対象児童がいない為、今後の為に勉強会など学びの場を作っていきたいです。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	4	アレルギー結果表と保護者との食事(食材)確認で把握し対応している。	医師からの指示書は頂けてないので、早急に対応していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2	定期的に安全対策委員会を開催し、事業所内や戸外活動で利用する場の安全確認を行っています。	施設内外の安全確認の見直しや、戸外活動での利用場所の安全確認の頻度を増やしていきたいです。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		5	周知が出来ていません。	周知する機会が少ないので今後定期的に実施出来るように努めます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットのケースが発生した際は記録を作成し、職員間で共有、改善策の話し合いを行っています。	再発防止の取り組みと職員間での周知・連携を図っていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		定期的に虐待防止委員会を主に研修を開催しています。	今後も虐待防止の取り組み実施と、学びの場を増やしていきたいです。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	1	4	必要時に保護者へ説明、同意を得ているが計画書への記載はまだ出来ていない。	同意書も作成し、計画書への記載・見直しを行っていきます。